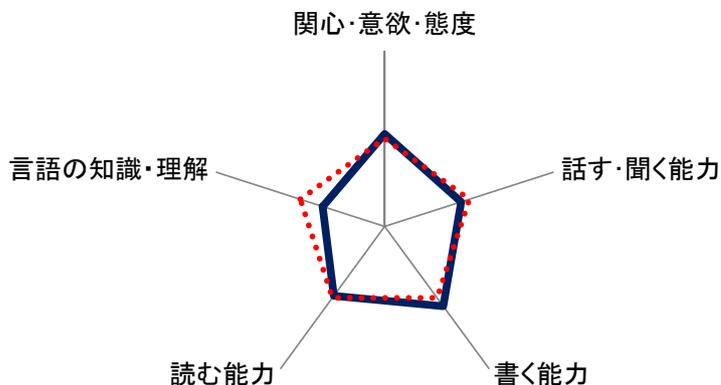


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

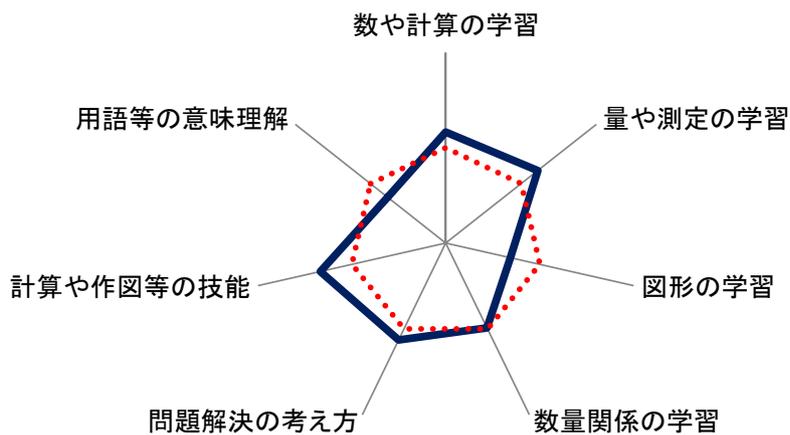
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

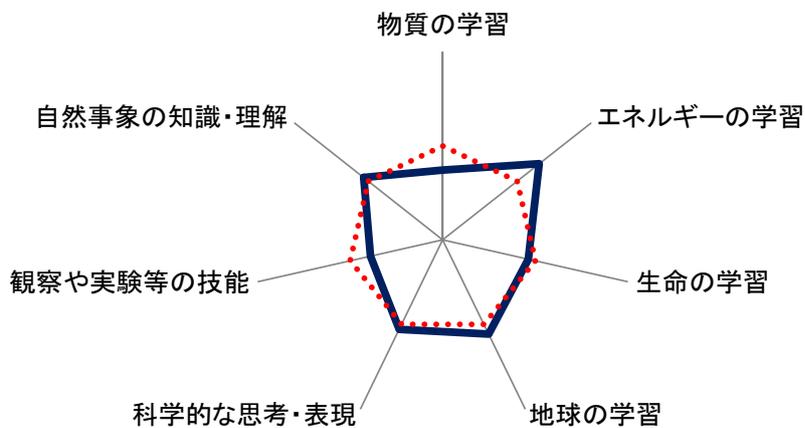
— 町平均  
..... 全国平均



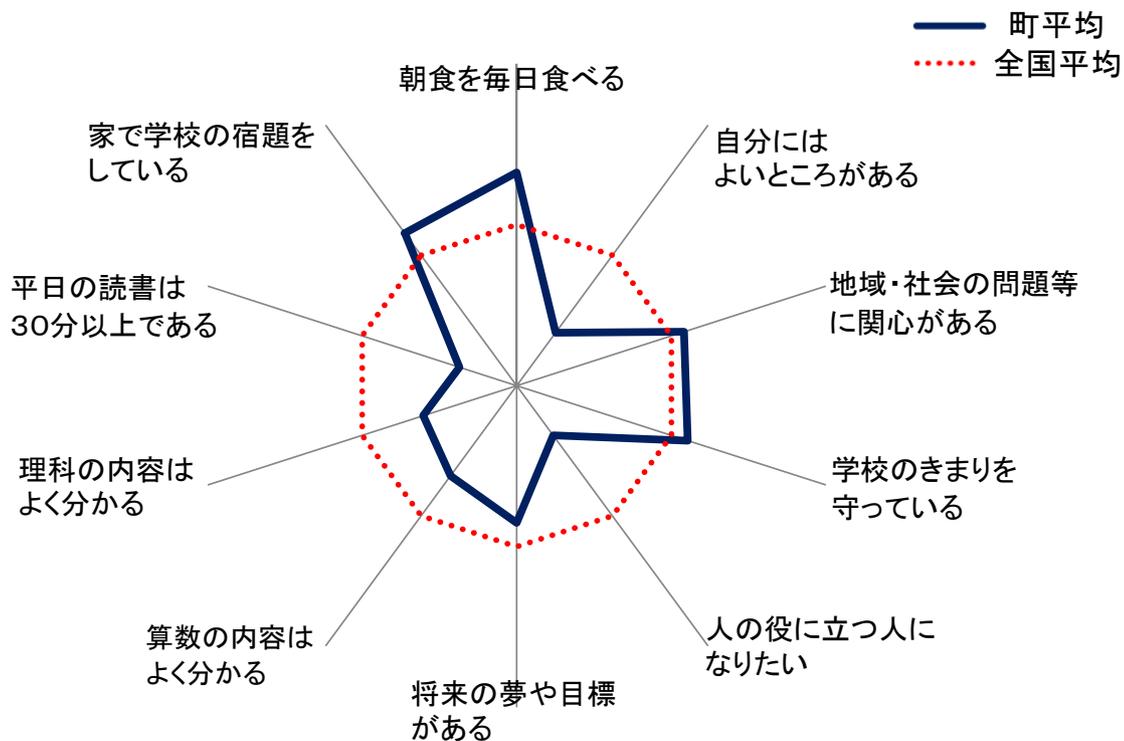
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は、「言語の知識・理解」の項目で全国平均を下回っているものの、他の項目は全国平均を上回っているかほぼ同じ程度である。算数、理科はともに学習内容や資質・能力によって全国平均を大きく上回っている項目もあれば、下回っている項目もある。算数・理科においては特に、知識と活用のバランスのとれた学力の育成を図ることに課題が見られる。毎時間の児童の達成状況を確実に把握した上で、次時の学習課題を明確にするなど、PDCAサイクルを一層機能させた学習指導を展開することが望まれる。

児童質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」や「家で学校の宿題をしている」の各項目で肯定的な回答が全国平均を上回っており、基本的な生活習慣が定着している。「自分にはよいところがある」や「人の役に立つ人になりたい」の各項目において、全国平均を大きく下回っている。様々な場面で、児童との対話を通じた関わりを多くもつ機会を設け、肯定的な言葉掛けを行い、児童にやる気や自信をもたせ、自尊感情を高める取組を学校、家庭、地域が一体となって行うことが望まれる。